

蘇南高校の卒業式が1日開かれ、3年生46人が恩師や仲間に見送られて巣立った。学びを終えた達成感と別れの寂しさで、笑顔と涙の両方が輝いていた。

小幡正樹校長は式辞で「10年先すら読めない時代だが探求的な学びの手法を武器に新しい時代を切り開いてほしい」と激励した。答

46人 学びや巣立つ

蘇南高で卒業式

辞を務めた中島圭都さん（18）は、中学時代に学校に行かれない時期があったことを話しつつ「人と関わる怖さよりも楽しさが芽生えた」と、蘇南で多くの出会いを得て成長できたことに感謝した。春から県外で働くといい「人を支えられる社会人になりたい」と決意を語った。

（高石雅也）



涙をこらえつつ会場を後にする卒業生